

# 新旧輪番就退任式



出席者に囲まれて



第 59 号

発行所

浄土真宗本願寺派 本願寺神戸別院  
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号

Tel: 078-341-5949

令和四年四月一日付で、本願寺神戸別院の代表職である輪番（代表役員）の交代人事が行われた。前任の中尾了信氏の定年退職に伴う人事発令となり、本願寺内務室より松本隆英氏が着任した。

中尾前輪番は、令和二年四月一日に就任し一年間在職した。就任時は、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう時期であったため、就任直後から各種対応や対策にあたられた。特に、法要のライブ中継や別院への参拝者に向けた「コロナ禍でのお寺参りのガイドライン」など、インターネットを活用した対応に尽力された。

松本輪番は、長く本願寺出版社で伝道布教に関する書籍編集を勤めた後に、本願寺の内務室で勤務されていた。

五月十九日、新旧輪番の交代の式典として、別院本堂で新旧輪番就退任式が開催された。当日は、新型コロナウイルス感染症拡大を配慮し、別院責任役員や有縁の役職者が参加して行われた。

次第は、勤行、両輪番からの挨拶、来賓者挨拶、記念品贈呈、花束贈呈が行われた。なごやかな雰囲気の中、前輪番を送るとともに新輪番を迎える式となつた。

このたび四月一日付けをもちまして本願寺神戸別院輪番（兵庫教区教務所長）を拝命いたしました。赴任いたしましたうえは、別院のさらなる発展のため精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻をくださいますよう何卒よろしくお願ひ申しあげます。



松本隆英輪番



中尾了信前輪番

就退任のあいさつ

このたび四月一日付けをもちまして、本願寺神戸別院輪番（兵庫教区教務所長）を退職いたしました。二〇二〇（令和二）年四月に着任以来、在職二年間、公私にわたり皆様方には何かとお世話になりご指導いただきましたこと心より御礼申し上げます。今後は、自坊においてご法義繁盛のため精進いたしたく存じます。

# 「知っておきたい葬儀のこと」

私たちのいのちには限りがあります。そのいのちの限りに接したときが死となります。死に至ると、一度と話すこともできず、姿形も保つこともできなくなります。

**○葬儀とは**

私たちのいのちには限りがあります。そのいのちの限りに接したときが死となります。死に至ると、一度と話すこともできず、姿形も保つこともできなくなります。

**○葬儀に宗教は必要か**

私たちのいのちには限りがあります。そのいのちの限りに接したときが死となります。死に至ると、一度と話すこともできず、姿形も保つこともできなくなります。



## ○葬儀とは

思う方が多いかと思います。これは、死後については、自分の力では知り得ることができないからです。

これらのこととは、人間にとつては永遠の課題であり解決できるものではありませんが、宗教を通すことによつて理解することや、悲しみを和らげることはできます。

## ○淨土真宗における葬儀

それ故に、「故人を成仏させる」、「靈を送る」といった考え方はありません。

淨土真宗における葬儀は、「今まさに阿弥陀如来の淨土へ往き生まれて仏となつた」ことを宗教儀礼によって私たちが認識していく場ともなります。

## ○モダン寺における葬儀のながれ

### 【臨終】

- ・ 臨終勤行

### 【葬儀前日】

- ・ 通夜勤行

### 【葬儀当日】

- ・ 出棺勤行、葬場勤行
- ・ 火屋勤行(火葬場にて勤行)
- ・ 還骨勤行

このようなことを避けるためにも、必ずお葬儀の際は、まずは、門徒となっている所属寺院にご一報を入れることが大切です。葬儀を終えても、後に納骨や年回忌等の法事もありますので所属寺院とのつながりを大事にされることが大切です。

なお、県外など遠方での葬儀であつても所属寺院から寺院を紹介していただけることもありますのでご相談ください。

## ○寺院とのつながり (まずは、所属寺へ連絡を)

生き方や死後のこととは、信仰する宗教によって異なります。そのため、いろんな情報が混じりあいどうすればよいのか迷い、不安になつている方が多いように見受けられます。だからこそ、宗教者が寄り添つた宗教儀礼が必要になるのではないかとうか。さらには、葬儀だけではない日常からの信仰が大切ではないでしょうか。

また、葬儀のことを、永遠に別れを告げる「告別式」とはいいません。なぜなら、今生のいのちは終えたけれども、次は、淨土にて仏としてのいのちが始まる教えであるためです。

先日、満中陰(四十九日)や一周忌のご法事の依頼の際に、当院の過去帳に記載がないため「葬儀はどうされましたか」とお聞きすることがありました。すると、葬儀のみを葬儀社から紹介された僧侶で行つたとの返答でした。

このような場合、門徒となつてい

## 別院仏教婦人会活動報告



舞台の前での記念写真



毫摶寺ご住職の説明を聞く参加者

令和元年以来、三年ぶりに別院仏教婦人会旅行が六月八日に行われた。旅行は、「未だ不安が絶えないコロナ禍でも、少しでも皆で笑いましょう」とのことから新開地にある【喜楽館】で落語鑑賞となつた。

当日は、四月に着任した松本輪番とともに、八名の参加があつた。

また、感染症対策のため、各自昼食をとつてからの集合となつた。

参加者は、「少し寂しいですが、行けるだけありがたい。とても良かつた」と語つた。

○別院婦人会は、一緒にお聴聞や旅行、お斎作りができる会員を随時募集しておりますのでお問い合わせください。

教行寺は、蓮如上人が創建されたと伝わる寺院である。名塩といえど、雁皮（がんぴ）を原料にして作られる名塩和紙が有名だが、その起源に蓮如上人が深く関わっているといわれる。

毫摶寺は、小浜の中心となつた寺院であり、寺院を中心に寺内町が形成され江戸時代には宿場町に発展した歴史がある。戦国時代に、豊臣秀吉が千利久を伴い有馬温泉へ向かう途中に宿泊したとの歴史もある。

両寺院とも時代を超えて、語り継がれている歴史に参加者は驚かされていた。

六月二十二日、別院仏教壮年会研修旅行が開催された。

コロナ禍での開催であつたため、同じ兵庫県内の寺院を訪ねることとなつた。行先は、西宮市・名塩にある小浜御坊毫摶寺の「一力寺」を訪れた。

教行寺は、蓮如上人が創建されたと伝わる寺院である。名塩といえど、雁皮（がんぴ）を原料にして作られる名塩和紙が有名だが、その起源に蓮如上人が深く関わっているといわれる。

毫摶寺は、小浜の中心となつた寺院であり、寺院を中心に寺内町が形成され江戸時代には宿場町に発展した歴史がある。戦国時代に、豊臣秀吉が千利久を伴い有馬温泉へ向かう途中に宿泊したとの歴史もある。

両寺院とも時代を超えて、語り継がれている歴史に参加者は驚かされていた。

## 別院仏教壮年会活動報告

### 兵庫・岡山テレホン法話集

#### 「ごいっしょの阿弥陀さま」

赤穂郡 専稱寺 赤松 普宣



阿弥陀さまはいつでも、どこでも、この私といっしょにいるため、名前の、声の、聞こえる姿になつてくださいました。名前の仏様なら、私がどこで何をしている時でも「なんまんだぶつ」とお念仏申すところに、思うところにいつでもご一緒です。ですから、「なもあみだぶつ」。この声が仏様です。

あるご住職さんが子どもたちの前でこんなお話をしてくださいました。

「みんなの目の前のこの仏様は阿弥陀如来という仏様です。ところで、変なことを聞くけれど、この目の前の仏様は阿弥陀様だけれども阿弥陀様ではありません。本当の阿弥陀様はどこにおられるか分かりますか？」

子どもたちは不思議そうな顔をしています。すると続けて「だって、これは木で作ったものでしょう。本当の仏様はどこにおられると思いますか？」

いろんな答えが返ってきます。「お経の中」、「宇宙の果てよりもこう」。

それを聞いてご住職さんは、続けて言われます。「みんなでもう一度お念佛えてみましょう。なんなんだぶ、なんなんだぶ、なんなんだぶ…」。

「そう、それが仏様ですよ。仏様、いつでもどこでもご一緒です。みんなが学校に行っている時、遊んでいる時も何をしようとお念仏申すところにいつも何をしても一緒にいてくださいます」。

すると、ある子どもが言います。「お風呂に入つてる時も?トイレ行ってる時もですか?」周りの子どもたちから「ストーカーみたいやなあ」とクスクスと笑い声が聞こえています。

でも、ご住職さんは、ひるまずに続けて話されます。「そうですよ、いつでもお母さんやお父さんと一緒に話します。みんなが、お母さんや先生に怒られて暗い部屋の片隅でひとりぼっちでいる時も…、友達とけんかしたり、仲間はずれにされて悔しくてさみしくて一人で泣いている時も、お念仏を称えるところに阿弥陀様という仏様だけはずつとずっとご一緒です」。すると子どもたちの顔色がちょっと変わったようでした。

お念仏を称えるところ、どんなときでもずっとご一緒なのが「なもあみだぶつ」の仏様であったのです。

別院ホームページにて、兵庫教区青年僧侶の会で作られた三分程度の法話が配信されています。ご視聴ください。

※過去に配信されたご法話を下さい。



## 朝のおつとめのご案内

### ～勤行を通して朝活しませんか～

モダン寺では、毎朝七時から朝のおつとめである「晨朝(じんじょう)」をつとめております。基本的には、正信偈のおつとめを行い、御文章拝読(ごぶんしよう)はいどく、職員による法話となります。

正信偈は、声を出してのお勤めとなりますが、仏徳讚嘆だけではなく喉の筋肉が鍛えられ、食べ物などが喉に詰まる誤嚥(ごえん)を予防するともいわれています。

参拝に際しては、お経本については貸出をいたしますので、お念珠を持つてお越しください。

朝のおつとめを通して心と喉の朝活をしてみませんか。

### 正信偈(正信念佛偈)

親鸞聖人が、お釈迦さまが説いたお経の要旨、さらに聖人が師と仰いだ七高僧(龍樹菩薩・天親菩薩・曇鸞大師・道綽禪師・善導大師・源信和尚・源空聖人)が著述した書物からの要約をまとめた偈(うた)であり、浄土真宗の根本が示されているものです。

## 御文 章

第八代宗主蓮如上人によって室町時代後期のご門徒向けに書かれたお手紙であり、浄土真宗の要をわかりやすく示されたものです。



お掛軸の見本

## 在家免物のご案内

### ～お仏壇のお掛軸は本願寺から～

神戸別院では、お仏壇にお掛けするご本尊を取り扱っております。当院で扱っているご本尊は、京都の本願寺からいただきしております。そのため、お掛軸には、ご門主さまの御印が押されております。

お掛軸には、種類(表装の大きさや生地)があります。

このたび、よりわかりやすくお掛軸の違いを説明するため、実物に沿った見本をご用意いたしました。

お仏壇を新たに迎えられる際、また新たにお掛軸を求められる際は、別院二階にお越しいただきましたらご説明をいたします。

## おしえてモダン寺コーナー

### 問

ご法事の際に、準備しておく仏具は何がありますか。

### 答

参拝者のみなさまにお焼香をしていただきますので、お焼香の準備をしてください。準備するものは、香炉と香盒(こうごう)、お焼香用のお香及び炭火となります。写真のような香炉と香盒が一体となつたものもありますので、仏具屋さんなどでお伺いください。

また、お焼香を回しやすくするため広蓋(ひろぶた)やお盆もご用意ください。



## おすすめ書籍(本願寺出版社)



どうして  
お葬式をするの?  
定価1,760円(税込)

お葬式で好きなお経を読んでもらえるのか、お布施はいつ渡すのか、法事は何回忌まですればいいのか…。「葬儀」へのギモン、「法事」へのギモン、さまざまなギモンにQ&A形式でわかりやすく答えます。

附録として、浄土真宗本願寺派における葬儀の歴史や意義について簡潔に記載した「これでわかる! 浄土真宗の葬送儀礼」を収録。(二階事務所でご購入いただけます)

## 2022(令和4)年度 本願寺神戸別院 法要行事予定

### 【恒例法要】

秋季彼岸会	9月22日(木)～24日(土)	午後 2時
報恩講法要	11月26日(土)～28日(月)	日中:午前10時、夜:午後 2時
除夜会	12月31日(土)	午後 4時
元旦会	1月 1日(日)	午前 7時
阪神淡路大震災物故者総追悼法要・ 「いのち」を考える研修会	1月 17日(火)	
春季彼岸会	3月20日(月)～22日(水)	午後 2時
※21日(火)は、納骨者総追悼法要を併修		